

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
健康・生活	①健康状態の維持・改善
	②生活のリズムや生活習慣の形成
	③基本的な生活スキルの獲得
具体的な支援内容	
健康状態の把握	
<p>①ご利用前に保護者さまご協力のもと「健康チェックシート」の記入をお願いしております。</p> <p>②ポプリに到着した時刻と休日中では正午、帰宅前に検温と視診を行います。</p> <p>③「鼻水が出る」「咳が出る」等の自らの体調についても意識できるよう鼻のかみ方やマスクの着用等の支援を行います。</p>	
健康状態の維持・改善	
<p>①集団活動等においてポプリでは外部講師を招き、キッズボックスを取り入れて基礎運動や体を思いっきり動かすことができる環境を提供致します。また体力の維持及び運動能力の向上、何より運動が楽しいと思えるように支援致します。</p>	
基本的な生活スキルの獲得	
<p>①ポプリでの日常生活や個別支援の中で、整理整頓（お片付け）の習慣がつけられるよう、個人用のロッカーを設置したり、玩具置き場には実物の写真を貼り付けて物の把握を行えるようにします。</p> <p>②食後の歯磨き、来所時には手洗い・うがい、お手洗いの後は手洗いが自然と行えるように手順表を掲載しております。</p>	
構造化等により生活環境を整える	
<p>①個別・集団活動等、様々なあそびや体験を通して全体の状況や流れを学ぶことができるように室内のフロアを分けて支援を行っています。</p> <p>②お子さま一人ひとりの特性に合わせて声や指示をかけるタイミングや状況を理解できるように「目で見て理解できる」環境を設定します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
運動・感覚	①姿勢と運動・動作の向上
	②姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
	③保有する感覚の総合的な活用
具体的な支援内容	
姿勢と運動・動作の向上	
<p>①日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や運動・動作の改善および習得、筋力の維持・強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 生活内での基本的動作を主に（靴の着脱、手洗い・うがい・排泄・食事等）</li> </ul> <p>②個別・集団活動の中で、椅子や机を用いて支援を行い正しい姿勢の習得を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 絵本の読み聞かせやお子さま一人ひとりが集中できるツールを用いて自然と「座る」が行えるように支援致します。</li> </ul>	
補助的な手段の活用	
<p>①お子さまが使用しているメガネや補聴器、食事においてはスプーンやフォーク、お箸など各種の補助ツールを効果的に活用できるように支援致します。</p> <p>②五感で楽しめる季節に応じた制作活動を提供して基本的な「感覚」を楽しみながら自身で感じられるように支援致します。</p>	
保有する感覚の活用	
<p>①保有する五感を最大限活かすことができるように、あそびを通して支援致します。</p> <p>②縄跳びや自転車の乗り方、<u>バランス感覚など体の使い方や強弱・方向の感覚</u>を見つけられるように支援致します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
認知・行動	①認知の発達と行動の習得
	②空間・時間・数等の概念形成の習得
	③対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
具体的な支援内容	
認知の発達と行動の習得	
<p>①お子さま一人ひとりの特性に応じた、<u>五感を十分に活用して必要な情報を収集しやすいように、色や形（絵や文字）、音や香りや味、触り心地や温度が直接分かるように認知機能の発達を促すことのできる支援を提供します。</u></p> <p>②個別・集団活動の中で活動内容から情報を収集しやすいように<u>イラストや写真を用いて手順を習得し、言葉や実際に保育者が演じてルールの説明を「目で見て理解できる」内容として、実際に自らが行動につなげられるように支援致します。</u></p>	
空間・時間・数等の概念形成の習得	
<p>①<u>多い・少ない、大きい・小さい、長い・短いなどの概念が「目で見て理解できる」具体的な対象物を用いて支援致します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- （例）ブロックの数・ボールの大小・紐の長さでは視覚的要素から概念形成を促します。</li> <li>- （例）午前中のプログラム・給食・午後のプログラムをホワイトボードに掲示して時間の概念形成を促します。</li> <li>- （例）活動フロアをパーティションで施しフロアの床色を変えて具体的活動内容の仕分けを行い概念形成を促します。</li> </ul>	
対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	
<p>①イラストや写真、ホワイトボードなどを用いて、<u>自身で理解できる情報を適切に処理し（促し）、自身で選択できる環境を整えて一人ひとりの特性に配慮し支援致します。</u></p> <p>②給食やおやつ等を含め、<u>こだわりや偏食についても部分的に自らが解除できるように支援致します。</u></p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
言語 コミュニケーション	①言語の形成と活用
	②言語の受容及び表出
	③コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用
具体的な支援内容	
言語形成と活用	
<p>①お子さま一人ひとりの特性に合わせて<u>具体的な体験や意味の理解</u>ができるように「<u>目で見て理解できる</u>」内容を掲示して保育者が代弁して、<u>その事実を声や言葉・音として覚えられる</u>ように支援致します。</p> <p>②言葉を通して身近な物や人を表して受容が行えるように支援致します。</p>	
言語の受容及び表出	
<p>①受容が少しずつ進み<u>自ら伝えたい、発信したいと思える</u>ような<u>保育者との信頼関係</u>を構築していきます。</p> <p>②絵本の読み聞かせ、対象物を同語反復練習、お子さま一人ひとりの<u>気持ちの代弁経験</u>を通して支援を行います。</p>	
コミュニケーションの基礎的能力の向上と手段の選択と活用	
<p>①言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、<u>正しい言葉の理解と活用方法</u>を繰り返しその場面に応じて伝え、支援致します。</p> <p>②非言語的コミュニケーションが図れるお子さまに対して、<u>場面に応じたジェスチャーや仕草、表情や態度</u>を繰り返し伝え、支援致します。</p>	

5領域とのつながりを明確化した支援内容

児童発達支援・放課後等デイサービス / こどもサポート・ポプリ

項目	主なねらい
人間関係 社会性	①他者との関わり（人間関係）の形成
	②自己の理解と行動の調整
	③仲間づくりと集団への参加
具体的な支援内容	
アタッチメント形成	
<p>①話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通して、<u>人との関係を意識し、身近な人との信頼関係を構築して</u>いきます。 その信頼関係をベースに周囲の人や友だちと安定した関係を形成するための支援を行います。</p> <p>②あそびや経験を通して保育者がお子さま一人ひとりの<u>気持ちを代弁して対人関係を円滑に</u>促します。</p>	
自己の理解とコントロールのための支援	
<p>①保育者はお子さま一人ひとりの特性を理解して、<u>声掛けや指示のタイミングを統一して</u>支援致します。</p> <p>②できる・できない等の自身の行動特性を理解し、<u>気持ちや感情の調整</u>ができるように配慮して支援致します。</p>	
集団への参加と支援	
<p>①<u>個別活動から集団活動への移行に</u>、お子さま一人ひとりの特性を理解して<u>状況や状態に合わせて苦手意識を限りなく少なく</u> 配慮できるように促していきます。</p> <p>②安心して参加できるように<u>保育者が側にいることで安全第一</u>となり、<u>保育者自らが楽しむことができるように活動の設定を</u>施します。</p> <p>③<u>相手の気持ちや状況の理解が円滑に行えるように保育者がフィルター</u>となり代弁して<u>相互理解が図れるように</u>支援致します。</p>	